

静岡総合

合格率3%の狭き門、女子ゴルフ・プロテストの突破を目指し、浜松市を拠点に活動する選手がいる。高校を昨年卒業した永田愛梨さん、19歳。初挑戦の昨年は1次、2次予選を通過し、最終テストは合格ラインに9打及ばなかった。「愛される選手に」。テストの先のツアー優勝を思い描き、9月の2次予選に臨む。
(末松茂永)

女子ゴルフ 永田さん 挑戦2年目



「完全に高校デビュー」。永田さんは高校入学後に頭角を現す。「いきなり成績が出た」に偽りはない。ショットが安定し、試合で上位に入るようになった。中学時代はコロナ禍に見舞われた。試合がなく、上達感覚も得られず、不意に向上心を失った。

中学2年の夏、父親に打ち明けた。「ゴルフ、やめようかな」。直後は「好きにしたら」と言われたが、数日後に「ここまでやってきたんだから、もうちょっと頑張ってみたら」と促された。

6歳の頃、父親の後をつ

いて行った練習場でクラブを初めて握る。小学4年

時、学校の二分の一成人式で「プロになる」と宣言した。しかし、当時は父親にやらされている気持ちがあった。親子関係の変化は「やめようかな」の相談に端を発する。「お父さんに干渉されなくなった。そこから、自分でやらなくちゃ



プロテストに向け意気込みを語る永田さん

浜松からプロ目指す

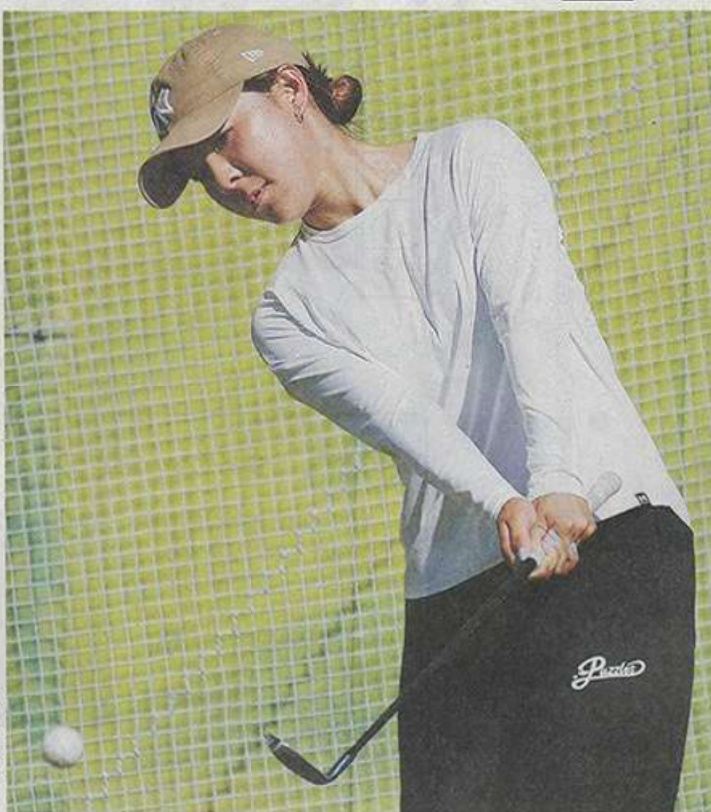
女子ゴルフのプロテスト 日本女子プロゴルフ協会(JLPGA)が主催し、近年は600人余りが受検する。1次・2次予選があり、最終テストの上位20人ほどが合格する。

と思い、自分の気持ちと向き合えるようになった。主体的となり、嫌いだっ

た練習が好きになった。「試合を想定して球筋を打ち分けたり、試合で生まれた宿題を練習場に持ち帰ったり。試合で練習のように球を操れると楽しい」

グリーン周りのアプローチ練習に励む永田さん。いずれも浜松市中央区で

成績に収まらない。「高校は知らない人ばかり。これまで人に合わせる事が多かったけど、誰とでも無理して付き合う必要がないと



「愛される選手」思い描き

ながた・あいり 2007年6月13日生まれ、浜松市中央区出身。芳川北小→南陽中→浜松学芸高(3年時、通信制の第一学院に転校)。

高校1年の23年県ジュニア選手権優勝、24年国民スポーツ大会(個人の部)優勝、25年日本女子アマチュア選手権6位。

取材後記



永田さんの小学校時代の恩師が述懐する。「書き取りの宿題で何度も何度も消して、書き直した跡が残っていた。自分が納得するまで妥協しないストイックな性格」。当の本人は「きれいな字」へのこだわりが強かっただけらしいが、興味を寄せた対象に時間を忘れて没頭できるのは天賦の才。ゴルフの道も切り開けるはずだ。

思うようになった。一人であるのが実は好き」。同じ顔触れで進級する小中学校とは異なる環境が人付き合いを変えた。幼少期は内向的だった。小学校低学年の頃は「保健室に登校していた」。気の弱さが思いやりの心を育み、「愛されキャラ」へと変貌を遂げている。自らトレーニングコーチを付け、利用する室内練習場では飛距離アップ特化のコーチを紹介された。「気づいたら、周りに教えてくれる人が増えていた」。屋外練習場の年配女性にも「あいさつができるから、好きよ」と応援してもらっている。

熱中症



報道部(直通)
電話 053(421)6036
FAX 053(421)5218
静岡総局
電話 054(255)2121
FAX 054(255)2124
購読のお申し込み
電話 (0120)454010